

SSH 通信

「TSURUOKA SCIENCE CLUSTER」におけるSSH活動の深化による科学技術の発展を担う「人財」の育成

第41号(令和3年12月)

Japan Super Science Fair



11月2日(火)～5日(金)の4日間、物理ゼミの2名が、「Japan Super Science Fair Online 2021」に参加しました。JSSFは立命館高校が2003年から開催している高校生による国際的な科学研究発表会・交流会です。今年度は世界19か国・地域から海外校38校、国内校19校の生徒が集いました。各代表生徒による探究活動のプレゼンや、専門家による講義、ディスカッション、小グループに分かれての課題解決学習など多岐にわたる活動を通し、国際的視野を大いに養うことができました。

生徒の声

JSSFの参加を通して、改めて英語での会話力、コミュニケーション能力、独創性の大切さを学びました。これからさらにグローバル社会になっていく世の中で、さらに外国の方々との意見の交流が大切になってきていると思うので、このようなたくさんの国の方々話し合えた機会をこれからの生活に生かしていきたいと思いました。(工藤 瑛太)

私は「超音波スピーカーを用いた害獣駆除」という研究をJSSFで発表しました。このイベントを通して最も印象的だったのは、全ての参加者の目的が社会問題を解決することで、英語はその表現方法でしかなかったということです。また、様々な分野の研究者が集まることで議論が深まりました。これは将来の仕事にも通じることだと思いました。(皆川 裕作)



台湾建国高級中学との交流

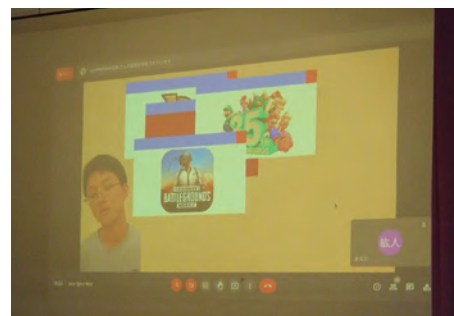
コロナ禍のため昨年度に続き台湾への進路研修は中止になりましたが、今年度初めての試みとして11月18日(木)に姉妹校提携をしている台湾建国中学とオンラインでの交流会を開催しました。

学校紹介の後に行われた代表生徒による研究発表では、代表生徒の研究テーマのレベルの高さに驚きを感じながらも、熱心に発表内容に耳を澄ませ、スライドに真剣に見入る生徒の姿がとても印象的でした。

今回は生徒一人ひとりが交流をする場面を設けることはできませんでしたが、画面の向こう側にいる建国中学の皆さんと共に時間を共有できたこと、会の進行や学校・鶴岡紹介、クラスごとにメッセージ作成することを通し、一人ひとりが交流会に携わることができたことは本校の生徒にとっても大きな財産になったと思います。

生徒の声

私たちは「鶴岡の魅力外国人に広めたい」という強い思いで活動しています。外国人の方との羽黒山登山や建国中との交流発表を通じ、貴重な体験をさせていただきました。交流発表は短い準備期間の中で苦労しましたが、達成感を得る事ができました。私たち自身が地元の魅力を再発見しているので、引き続き楽しんで情報発信をしていきたいです。(富樫 永理奈)



発表テーマ数

S S 探究											H S 探究				酒田南	酒田東	加茂水産
物理A	物理B	化学A	化学B	生物A	生物B	地学	数学	家庭科	保健体育	先端研	社会	国語	英語	芸術			
5	3	1	1	6	5	1	9	3	3	1	15	9	3	6	5	2	1

10月14日(木)に「鶴南ゼミ中間発表会」が本校体育館および剣道場にて行われました。今年度は、予定通り研究の時間を使うことができ、様々な工夫をしながら、探究活動の成果をポスターにまとめて発表を行うことができました。校外からは、酒田南高校から5テーマ、酒田東高校から2テーマ、加茂水産高校から1テーマの発表が行われました。山形大学の村山秀樹農学部長をはじめとし、様々な方面の来賓の方々から参加していただき、貴重なご意見を頂戴することができました。



生徒の声

私は日本の少女漫画について研究をしました。中間発表当日の朝ぎりぎりで作った補足説明がなぜか大変評価されたようでもはやどの内容がメインだったのか今はもうわかりません。皆さんに楽しんでいただけたなら何よりです。補足の内容が気になった方は発表を見たお友達に聞いてみてください。(野宮 小華)



生徒の声

受け身の活動をしてきた私たちは、中間発表やポスター制作をする中で、研究題材である微生物燃料電池への興味が深まり、掘り下げて研究したいことを見つけました。中間発表は今後、主体的に研究を進めるためのきっかけになったと思います。(犬塚 光里)



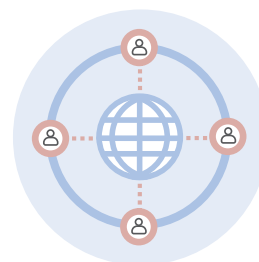
生徒の声

私たちは外国人に鶴岡の魅力を発信するために、どんな情報や手段が外国人を魅了するのか研究しています。日本人を相手に英語で説明するために図やパンフレットを用意したものの、聴衆の皆さんの頭に？が浮かんでいるのを感じ、英語発表の難しさを痛感しました。今後も、鶴岡の魅力に恋してもらおうべく、研究に励んでいきます。(中島 彩花)





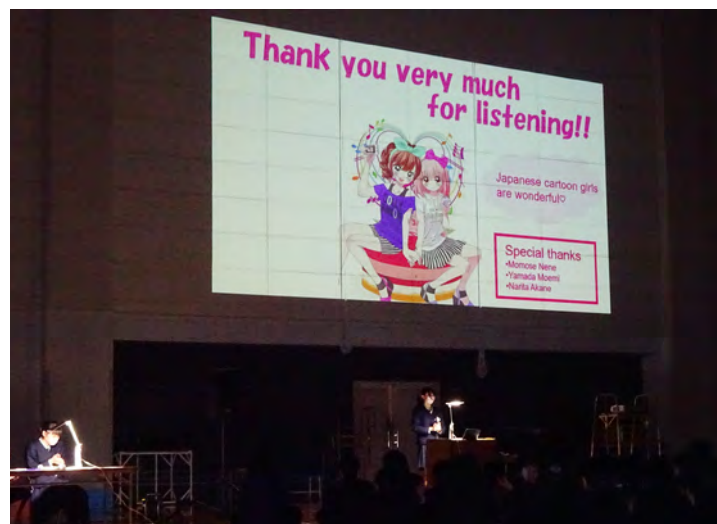
11月4日(木)、建国高級中学とのオンライン交流会を前に探究活動・英語学習活動の1つとして開催されました。中間発表で選ばれた5グループが「わかりやすい英語で自分の研究テーマを伝える」ために、話し方やまとめ方にさまざまな工夫を加えていました。発表の後の質疑の場面においても、1・2年生問わず質問が出され、それに対し自分達の言葉で答えながら、互いに研究テーマについての理解を深めていく姿が印象的でした。



生徒の声

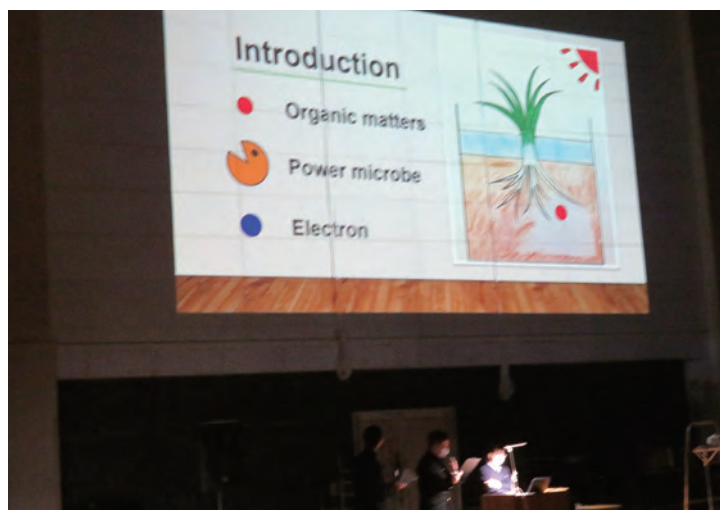
私たちは「ベイベレードで慣性モーメントを視る」というテーマで慣性モーメントについて研究しました。式や専門的な用語を英訳するのが難しく、準備が大変でした。本番では内容をうまく伝えることを意識しました。スライドの使い方など課題もありましたが、生徒のみなさんにうまく内容を伝えることができてよかったです。

(中野 勝太・成澤 璃玖)



生徒の声

私は日本の少女漫画についての研究をしました。芸術ゼミがこの発表に選ばれることは初めてということで、光栄に思うとともに発表の場を設けていただいたことを有難く感じています。皆さんの記憶に残るようなおもしろい発表になっていたら幸いです。最後に突然のコール&レスポンスに協力していただきありがとうございました♡(野宮 小華)



生徒の声

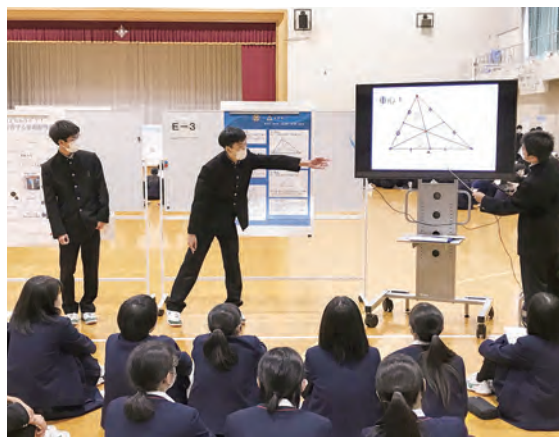
私たちは微生物燃料電池をテーマにして、研究してきました。日本語で説明するのも難しい題材を英語に直す、と聞いた時は驚きました。誰もが見てわかるスライドを意識した時、英語だけではなく国語力も必要だということを感じました。今後は疑問を追求し、理解をさらに深めたいです。最後に添削して下さった池田先生、エリック先生、本当にありがとうございました。(藤原 彩名)



10月20日(水)酒田東高等学校2年次課題研究中間発表会に参加しました。本校からは、3グループ13名が発表のため参加しました。本校の発表会より長い「5分の説明」「3分の質疑応答」という持ち時間でしたが、酒田東高生からの質問が多く、時間を持ってあますことなく充実した発表でした。自分たちの研究内容を別の角度から見る良い機会になったようです。

生徒の声

私たちの活動内容は、三角形の五心の一つと頂点の1つの位置を固定したときの、残り2つの頂点の動かし方を考えるというものでした。ポスターだけでなく、1つ1つのスライドを使って説明することで、より視覚的にわかりやすかったと感想をいただきました。(小池 裕明)



羽黒精進料理英語版パンフレット作製

昨年度英語ゼミに所属し、「地域活性に関わる内容で国内外全ての人々に鶴岡の文化を発信したい」という思いから始めた「精進料理」の研究。鶴岡市役所の方や羽黒の宿坊さんへの取材を重ねて今年の夏に完成した英語版パンフです。個性あふれる作品に仕上がりました。

生徒の声

私は2年生で英語ゼミに所属し庄内の食文化や精進料理の研究を行いました。たくさんの方に支えられ、英語版の精進料理のパンフレットを完成させることができました。研究する中での貴重な経験や身につけた力をこれからの生活に生かし、さらに成長していきたいと思います。(高橋 璃莉花)



第三学区 住民学習講座 令和まなび塾

10月23日(土)に第三学区コミセン主催の住民学習講座令和まなび塾にて本校の地域活性化ゼミで空き家に関する問題をテーマとしているグループが講演を行いました。様々な年代の方々が参加し、それぞれ思うところを話しながら活発な意見交換をすることのできた講座となりました。

生徒の声

第三コミセンの令和まなび塾で私たちの取り組んでいるテーマ「住みたい鶴岡の街へ！鍵は空き家…？」について発表させていただきました。地域の方とこのような機会での交流ができたことは大変有意義でした。発表を通じて、必要なデータの集め方がまだ十分でなかったことや相手に合ったわかりやすい伝え方を考えていく必要があることなど、これからのゼミ活動に活かしていきたいです。(成田 茜)



科学の甲子園

10月22日(金)筆記、24日(日)実技と2日間にわたり、科学の甲子園山形県大会が行われました。2年理科の生徒7人が参加し、総合第6位という成績でした。試行錯誤しながら、正解がわからない課題へ取り組むことで、科学的な思考力などを高めることができました。

生徒の声

今回の大会は、実技では倒れやすい物体・倒れにくい物体を作成せよという問題で力のモーメント等の既習事項と様々な発想が必要でとてもハードでしたが、全員で協力し物体を作成できました。筆記でも科学的思考力が試される問題が出題されました。結果は6位でしたが良い経験でした。(白山 権)

